

すべてを失った日、  
わたしは夢に向かって  
歩きはじめた。



# いwasaki ちひろ ~27歳の旅立ち~

■ちひろ美術館・東京開館35周年 ■安曇野ちひろ美術館開館15周年

エグゼクティブプロデューサー：山田洋次 監督・編集：海南友子

声の出演：檀れい、田中哲司 ナレーション：加賀美幸子 出演：黒柳徹子、高畑勲、中原ひとみ、松本善明ほか  
企画・特別協力：財団法人いわさきちひろ記念事業団 助成：文化芸術振興費補助金

[www.chihiro-eiga.jp](http://www.chihiro-eiga.jp)

## 【第15回 NPO法人那須フロンティアフォーラム・障害の枠を超えて】

- \* 場 所：那須塩原市黒磯文化会館 小ホール
- \* 整理券：地域生活支援センターゆずり葉、喫茶店ホリデー  
那須塩原市役所福祉課にて配布（7月20日より）
- \* 問合せ：NPO法人那須フロンティア  
地域生活支援センターゆずり葉(9:00~18:00 日・月休み)Tel 0287-63-7777  
喫茶店ホリデー (11:00~17:00 水休み)Tel 0287-62-2134  
Mail [frontier@io.ocn.ne.jp](mailto:frontier@io.ocn.ne.jp) Web <http://www.nasu-f.com>  
主催：NPO法人那須フロンティア 共催：那須塩原市

平成27年

9月13日(日)

13時~16時15分

**無 料**

整理券制



画家いわさきちひろの知られざる人生。貴重な証言で綴る、初のドキュメンタリー映画。

誰もが知っている絵本画家の、  
誰も知らない波乱の人生。  
27歳——バツイチ 家なし 職もなし。  
いわさきちひろ、愛と不屈の物語。



絵をかく女の子 1970年



**子** どもへの愛に溢れ、ベストセラー『窓ぎわのトットちゃん』（黒柳徹子・著）の絵でも知られる、いわさきちひろ。没後38年を経た今も、愛され続ける日本を代表する絵本画家です。しかし、彼女の人生が波乱に満ちていたことは、あまり知られていません。結婚に失敗し、戦争ですべてを失った人生のどん底で、ちひろは絵の道で生きる決意をします。その時、27歳。四面楚歌のなかでの再婚。失業中の夫を絵筆一本で支えた過酷な日々。仕事での孤立。病との闘い。どんなに苦しくてもちひろは決して諦めなかった…。その柔らかな絵からは想像できない、彼女の知られざる波乱の人生に迫ります。

初めて明かされるエピソード、ラブレター、原画の数々。

**ち** ひろの生きる強さに、彼女の絵の印象が180度変わった」と語るのは、本作の監督 海南友子。エグゼクティブプロデューサーの山田洋次からちひろの人生を聞き、衝撃を受けたといいます。3年に及ぶ取材で得た家族さえ知らなかったエピソードや、埋もれていた夫・松本善明からちひろへのラブレター、展示されたことのない貴重なデッサンや原画の数々から浮き彫りになる新たなちひろ像は、新鮮な驚きと感動に満ちています。



顔をわらう自画像 1947年頃

ちひろの絵は、『火垂るの墓』をつくったときも、この絵は人類美術史に於けるそれ以降も、日本の子どもをどう造形するかについて（中略）私たちの一番の導き手です。

高畑 勲 (アニメーション映画監督)

葉 祥明 (画家)

さくらももこ (漫画家)

※「ちひろBOX 没後30年メモリアルブック(読者社刊)より

**ア** ンデルセン童話の紙芝居から、反戦の思いを込めた最晩年の絵本まで。ちひろは生涯をかけて、新しい絵本への挑戦を続けました。物語絵本が中心だった時代に、子どもの心の内面を描いたちひろの絵本は、“感じる絵本”という新たな扉を開きました。卓越したデッサン力、水彩の“にじみ”の技法、余白を生かした大胆な構図——。その技術、芸術性の高さ、社会的なテーマは後続のアーティストに大きな影響を与えています。



畑のなかの母と子 1973年  
『新しいなかの子どもたち』より

いわさきちひろ 27歳の旅立ち

エグゼクティブプロデューサー：山田洋次／監督・編集：海南友子  
声の出演：榎れい、田中哲司／ナレーション：加賀美幸子／出演：黒柳徹子、高畑勲、中原ひとみ、松本善明ほか  
プロデューサー：向山正利／撮影：南幸男、伊東慎治、若尾泰之／監音：森英司／スチール撮影：花井智子  
企画・特別協力：財団法人いわさきちひろ記念事業団／製作：ホライズン・フィチャーズ  
助成：文化芸術振興費補助金／配給：クレスタインターナショナル  
2012年／日本／カラー／96分／HDCAM／ステレオ／16:9  
© ホライズン・フィチャーズ [www.chihiro-eiga.jp](http://www.chihiro-eiga.jp)



左：立てひざの少年 1970年 右：モデルとなった息子・猛 1954年

2015年9月13日（日）13:00～16:15

参加費：無料 ※整理券制

場 所：那須塩原市黒磯文化会館 小ホール（〒325-0026 那須塩原市上厚崎490）

当日は映画上映に加え、安曇野ちひろ美術館副館長・竹迫裕子さんの講演があります。託児、音声ガイドあり。事前にお問い合わせ下さい。